

施策3 貧困の連鎖を断つ

1 施策の方針

- 学校での学習だけでなく、地域等によるきめ細かな学習支援により、子どもの学力向上を図ります。特に、将来の社会的・経済的自立につなげるため、困難を抱える中学生に対し、高校進学に向けた学習支援の充実を図り、社会で求められる知識・能力及び社会性等を身に付けることで職業選択の幅を広げます。
- 学校や区役所、民間による相談支援や、経済的な支援により、就学継続や希望する進路の実現につなげます。

2 主な取組

(1) 学習支援

○寄り添い型学習支援事業

生活保護世帯等の子どもに対し、高校進学に向けた学習意欲の向上や学力の向上のための学習支援を充実し、安定した自立を実現し、貧困の連鎖を断ち切る取組を進めます。

○ひとり親家庭児童の生活・学習支援（再）

母子世帯の母の50.8%、父子世帯の父の71.5%（ともに全国値）は、仕事を終えて帰宅する時間が18時以降であり、保護者が帰宅するまでの間、子どもの居場所づくりや学習支援、また、子ども1人で食事を取らざるを得ない「孤食」などを防止する取組が必要となっています。

このため、ひとり親家庭の児童に対して、食事の提供も含めた夕方以降の生活を支援するためのモデル事業を実施し、ひとりで家にいることが多いひとり親家庭の子どもたちの基本的な生活習慣の習得と健全育成を図ります。

また、このモデル事業を検証し、ひとり親家庭の子どもに対する今後の支援策について検討します。

(2) 進学支援・就学継続支援

○被保護者自立支援プログラム（教育支援専門員）

区の生活支援課に教育支援専門員を配置し、生活保護を受給する世帯の中学生とその養育者に対し、家庭訪問等による就学に関する各種制度や生活保護制度に関する情報提供、進学意欲喚起、各種相談機関の利用支援等を行い、進学・就学に向けた支援を行います。あわせて高等学校等に在籍する生徒についても通学継続支援を行います。

○高校奨学金

経済的な理由や家庭の事情により、高等学校での修学が困難な方へ返還不要の高等学校奨学金の支給や定時制高等学校の教科書の給付などを行います。

(3) その他の事業・取組

| 事業名 | 事業内容 |
|------------------------|---|
| 寄り添い型生活支援事業 | <p>養育環境に課題がある、生活困窮状態にあるなど支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等が、安心して過ごすことのできる環境の中で、基本的な生活習慣を身に付けたり、将来の進路選択の幅を広げ、自立した生活を送れるようにするため、生活スキルの習得や学習を支援する寄り添い型生活支援事業を充実する。本事業により、身近にロールモデルとなる大人が少ない小・中学生に対し、様々な世代のスタッフによる生活・学習支援を行うことにより、子どもたちが将来の目標を持つことにもつながる。</p> |
| 「学び直し」による学習支援 | <p>定時制の市立高校で、生徒の到達度に応じ国語や数学、英語の基礎を改めて学ぶとともに、基本的な学習習慣を身に付ける「学び直し」の授業を実施。</p> |
| 就学支援金・学び直し支援金 | <p>平成26年度より公立高等学校授業料を所得制限を超えない範囲の生徒に対し、就学支援金を給付する。 また、学び直し支援事業とは、高等学校等を中途退学した者が再び高等学校等で学び直す場合に、就学支援金の支給期間の経過後も卒業までの間（最長2年）、学び直し支援金を支給することにより、授業料を支援する制度。</p> |
| 市立大学の授業料減免制度 | <p>経済的理由により授業料納付が困難な方を対象に、1年間分の授業料を半額または全額免除する制度。</p> |
| 市立大学のスタートアップ奨学金制度 | <p>授業料減免となった方のうち特に経済的困窮度の高い方へ、年間10万円を給付する制度。（入学初年度の学部1年次のみ対象）</p> |
| 生活困窮状態の若者に対する相談支援事業(★) | <p>生活困窮状態及びそれ以外にも複合的な課題を抱える若者に対して、区役所や青少年相談センター、地域ユースプラザ等と連携して自立に向けた総合的な支援を行う。</p> |

☆コラム～教育支援専門員による支援～☆

生活保護世帯の児童・生徒が、希望する進学先に進み、将来に備え十分な知識を身に付け、社会的にも経済的にも自立を実現することができるよう、主に高等学校等への進学支援と通学支援に特化した支援を、担当ケースワーカーとともに行っていきます。

中学校3年生を中心に、本人や保護者に対して、本人の将来を見据えて高校進学することの意義を共有し、進学制度の説明や寄り添い型学習支援事業への案内など、進学に向けた準備について、面接や家庭訪問などを通して支援します。不登校の生徒に対しては、家庭訪問の他、学校や他の相談機関とも連携して支援しています。

また、必要に応じて高校進学後も継続的に支援することで、高校を中退することなく、卒業することができるよう取り組んでいます。